



学校だより

11月号



～豊かで調和のとれた子の育成～

たくましく生きる人 なかよく生きる人

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/tana/>

みのたなくん

ONE TEAM 田奈小学校

副校長 津守 逸実

10月も残暑が厳しいと思っていたら、あっという間に朝晩肌寒くなり秋の深まりを感じる日々となってきました。秋の心地よい風が校庭・教室を吹き抜けています。自然の風はとても気持ちのよいものです。

さて、秋といえば「スポーツの秋」「食欲の秋」「読書の秋」など何をするにもよい季節です。「スポーツの秋」といえば、やはり、「ラグビーワールドカップ2019」が挙げられるのではないのでしょうか。ラグビーワールドカップで様々な国籍の選手が1つのチームとして一緒に戦ったり、対戦相手の選手が試合後に握手を交わしたり、ファンが敵味方に分かれず座る様子をご覧になった方も多いと思います。

決勝戦が横浜の地で開かれることやラグビー発祥の地であることから横浜市としてもラグビーワールドカップを盛り上げようと様々なことに取り組んできました。その一つとして、給食のメニューに出場国にちなんだメニューが取り入れられました。ロシアのビーフストロガノフ・カブースタやイギリスのスコッチブロスを美味しくいただきました。

また、ラグビーの出前授業などもありました。私の前任校では日本代表元キャプテンの廣瀬俊朗氏を招いて実技や講演の中で「夢をもつこと」「練習をおろそかにしない」「仲間を信じること」「感謝の気持ちをもつこと」が大切だという

こと教えていただきました。



さらに、ラグビーについて調べてみると競技規則で細かいルールの前に「ラグビー憲章」として5つのコアバリューが掲げられ、選手やファンなどラグビーに関わる人がみんなその5つの言葉を大切にしていることを知りました。

信頼＝みんなでつくった約束を守り仲間を信じて

助け合うことを大切にしている

品位＝フェアプレーを大切に誠実にふるまう

尊重＝敵味方関係なく人を思いやり大切にす

情熱＝どんなことにもひたむきに謙虚に強い気持ちで取り組む

結束＝国籍や人種・文化の違う仲間と一つになる

このようにラグビーの精神には、私たちの仕事・日常生活にも役立つことがたくさん詰まっています。今後もラグビーだけでなく様々なスポーツを通して子どもたちが健全に育めるよう学校・保護者・地域の方と力を合わせ三位一体となり ONE TEAM 田奈小学校として子どもの成長を支援していけたらと思います。